

## 6-2 ツアー実施事業者へのアンケート結果（概要）

各テーマの実施旅行会社に対するアンケート調査の結果、下記のような意見がみられた。

### 【テーマ1 東日本大震災の影響を受けた地域への旅行需要創出】

#### ○工夫した点について

- ・復興途上である被災地域の方々に対し配慮した行程とした。
- ・被災地域へのボランティアだけでなく、地域の復興の現状を伝えることにこだわった。

#### ○情報やイメージと違った点

- ・飲食、宿泊、交通などで復興の度合いが地域の中で大きな差があることに戸惑った。
- ・風評被害の影響による厳しい実態を目にした（東北内陸部の地域へのツアー実施旅行会社）。

#### ○必要な対策

- ・復興の状況を含めた受入側の情報を一元化して欲しい。
- ・宿泊施設の復旧がまだ途上であるため不足している。
- ・観光客が利用できる宿泊施設に限られることへの対策が必要（復興関係業務客で埋まって予約が取れない）。

#### ○取り組みたい点

- ・復興支援をテーマとしたツアーは継続したい（ほとんど各社が回答）。
- ・地域と密な連携が必要（観光関係だけでなく NPO 等とも必要）。

#### ○必要な施策

- ・「安全性」と「地域の活気」といった地域の実情を、国内にもっとアピールして欲しい。
- ・今回のようなモニターツアーを継続することで、現場からの生の実態を伝えられる。

### 【テーマ2 長期滞在型旅行の推進】

#### ○課題と成果

- ・滞在中に何を楽しませるか、滞在型でないと出来ないプログラムや体験が必要。

#### ○資源・施設・受け入れ体制

- ・今までの概念にとらわれない多様な料金体系が必要である（例えば「泊食分離」や「1人1室料金」等）。
- ・充実した飲食施設や利便性のある二次交通が必要である。
- ・滞在生活をサポートするランドオペレーション機能の充実。
- ・多様なプログラムの整備。

#### ○旅行商品・旅行会社

- ・従来のパッケージ型でなく、基本的部分だけ決めてあとは選択できるツアー構成が必要。

○情報発信・流通手段

- ・ターゲットを明確にし、的を絞った訴求が必要。
- ・口コミが効果的である。
- ・フェイスブック等のWebの活用が重要。

○配慮して取組みたい点

- ・ターゲットを明確にし、滞在して体験するテーマを明確にすること。

**【テーマ3 若者の旅行振興】**

○旅行商品

- ・若者にとって、旅行とは目的を果たす一つの手段である。
- ・共通の趣味を通じて新たな友人ができるような商品造成が必要。
- ・その旅行に参加することでしか得ることの出来ない経験を盛り込むことが必要。

○情報発信

- ・SNSを使った地域側からの情報発信と若者とのつながりを作ることが必要。
- ・昼夜忙しく、休日も予定が多いであろう若年層は、移動時間や深夜等空いた時間で情報を収集し申込を行う傾向が強い。
- ・情報収集や勉強に熱心な若者が多く、目的意識が高い。

○必要な施策

- ・通常の個人旅行では見学することが出来ない場所を特別に見学できるよう、施設との連携（簡単には買えない旅行）が必要。
- ・若者が興味を持っているものや人目を引くものを通してその地域を知り、実際に若者が現地に足を運び、その地域のファンになる仕組みが必要。
- ・地元の人との交流により「インターネットでは知り得ないことを知る」や、ツアー中に「ちょっとした苦労」や「ちょっとした未知」を強調することが必要。